

Your Body Is In Yourself

書の身体知

— PROGRAM SHEET —

2021.August.14-15

“Your Body Is In Yourself”

書の身体知

書の思考性「身体知」の理解に向けて、
筆の動きを身体の動きの中から捉えます。

「自分の身体のコントロール」
「道具のコントロール」

大型の紙や全身を使った動きの中から理解を深めていきます。

書は筆の動きの理解「思考性」を
鑑賞力として使います。

書は平面の制作品ですが、
書家は思考の中で筆の立体の運動情報を理解しています。

臨書はその身体に向けられた蓄積にあり、
その見えない内側に秘められていく書の持つ本来性を、
この作品は回帰させようと試みます。

書は内側の私自身の中に存在するものを
「再構築」させるのです。

書家はそれら平面の書を見る中で
「音楽」や「ダンス」など同様に動きを処理しており、
もっとも重要な東洋的な本質の正体です。

参加型作品

会場 [金沢市民芸術村 アート工房](#)

2021年

8月14日 13時-

8月15日 10時-

体の動きを意識して書いてみよう、横4m×縦2mの大きな紙を使います。

1. ストレッチ・体の動き(参加者全員)
2. パフォーマンス (アーティスト)
3. 制作 (参加者)
参加者は上下 TYPE 1、2、3の動きの形から作り出される線を書いていきます。
4. ディスカッション
参加者全員で振り返りと共有の時間を作ります。

パフォーマー 寺嶋 綺葉
振付 宝栄 美希
学生アシスタント 篠井奈美、黒田桃圭、中村聖耶
大道具 増井大樹
ディレクター 23

NOTE

鑑賞 / 参加 / メモ



きよう先生

半紙の面積より大きな紙に書く事で3つの楽しみを共有しましょう

- ◎身体を使って大きく線を作っていく楽しみ。
- ◎みんなと共有する楽しみ。
- ◎線を書くことをシンプルに向き合う楽しみ。

そして、文字から離れ純粋な行為から自分の動き、軌跡を目視化する中で見つける「書の思考性」

自分の身体が筆になる意識
自分の思考の中の筆の意識

新しい技術は空間全部をつかって動きが映像化できる世界をすでに実現しています。

それら造形的な挑戦にも興味は尽きませんが、私達が身体に持つ可能性を、この作品で見つけてみませんか。

みき先生

今回、身体性を重視し、ダンスでも書道パフォーマンスでもなく「運動」をモチーフにしたものを書家の体に振付し、体が見せるもの（結果）ではなく体を感じる運動（過程）を振付る【=書の思考性の表現を試みる】ということに、いつもとは違う緊張と未知の領域を感じながら振付をさせて頂きました。

筆が描く軌跡を想像しながら振付をしてはいますが、担当させて頂いた「過程」が産む「結果」は全くの未知数でした。しかし、リハーサルでパフォーマーが描いた筆跡は、想像以上にエキサイティングで胸が高鳴りました。

そして、この動き（振付）を身体性の違う方々（みなさん）が行った時に表れる筆跡は、多様性と表現性にあふれているに違いないと思います。

既成概念を越えて表れるものを皆さんと共有できれば。

長土堀青少年交流センター 鍛治さん

「かなざわユースプロジェクト」では、青少年の地域活動への参画を通して、次世代を担うリーダー育成と地域活性化を目指しており、市内の高校生～大学院生が現在活動中です。

書道といえば、「じっと静かに書くもの」というイメージが強いかと思いますが、メンバーたちも今まで知らなかった書道の世界に触れることができました。

このイベントを通して来場者の皆様が魅力的な書道の世界に触れる手助けをできたらと思います。

プログラムへ参加した「わたし」 ※みなさんの事を書き込んでください※

プログラムの目的

このプログラムは、青少年のみなさまの実践的な学びとして「現代アート作品」への参画を通して、金沢市こども未来局青少年健全育成センター「かなざわユースプロジェクト」の活動の一環として、次世代の人材育成及び地域活性化に向けた役割の場と、作品を共有する中で共に作り上げる連携を図っています。

作家や地域が相互協力のもと、美術活動や文化活動で蓄積する情報やノウハウ、人的資源やアーティストの活動、造形活動と鑑賞活動の融合を図るとともに、体験学習に必要な学習教材やプログラムを参加者が共同で開発し、美術や文化の機能を活用した新しい総合学習プログラムの構築を目指します。

このプログラムによって、現代アート作品が芸術文化の創造及び継承のための場としてより身近な存在になる事を目的とします。

